

## 日本語 2 1 2 Oral Essay Assignment #1

In this assignment, you will make a short (oral) presentation about your childhood. Special attention should be paid to what you had to do, were allowed to do, and were not allowed to do. First, read the following paragraph describing a Japanese person's childhood memories. Before creating your essay, list the things you had to do, were allowed to do, and were not allowed to do in Japanese. Then, add more information related to each item such as reasons, people involved (who told you/allowed you to do something), what you thought about the experience, etc. Create the final version orally by talking aloud about your list and notes, recording your monologue using the software provided (for software access, see the course website (> "Links") or the catalyst dropbox). The maximum length of your presentation should be 2 min. Format your audio file as either .mp3 or .wav. Then, upload the file to the dropbox by 1/20 (W). The dropbox will mark assignments as "LATE" if submitted after 5pm on 1/20).

### <子どもの時のおもいで>

子供の時に、私はそとであそぶのがあまり好きじゃありませんでした。ですから、いつも母は、「家の中であそんじゃだめよ」と言っていました。雨がふっている日は、家の中であそんでもよかったんですが、天気の日、たいてい家の中にいられません。私は、兄弟がいまませんでしたら、友達とあそばなければいけなかったんですが、家の近くには、いい友達がいまませんでした。一番いい友達だった<sup>かずみ</sup>和実と言うクラスメートの家までは、家からじてんしゃで30分ぐらいだったので、母に「和実君のうちにいってもいい？」と聞いたら、たいてい母は、「時間がないから、だめよ。」と答えました。ですから、あまり好きじゃない友達とあそんだので、たのしくありませんでした。学校がある日は、晩ごはんの後、しゅくだいをしなければいけませんでした。それから、しゅくだいがおわる時まで、テレビを見てはいけなかったんです。でも、週末はいろいろなことをしてよかったんです。家の近くの川で泳いだり、和実君の家まで自転車に乗って行ったりしてよかったので、とてもたのしかったです。勉強もしなくてよかったです。でも、ときどき、父がくるまをあらうので、てつだわなければいけませんでした。私は、あまりくるまをあらうのが上手じゃなかったの、父は「てつだわなくてもいいよ」と言ったのですが、母は、「お父さんをてつだわなければいけません」と言ったので、てつ

だいました。くるまをあらった後、父は、「くるまをあらってくれてありがとう」と言っていました。